

今がチャンス！

パス一閃

たのはた

広報 人と自然が織りなす心豊かな協働の村

復興へのご支援に心から感謝します

9月14日、本村と岩泉町の5会場で開催された下北地区中学校新人大会。田野畑中の生徒たちが気迫あふれるプレーで勝利をつかみ取った。写真は女子バスケットボール・工藤亜胡さん(2年)。(関連記事は9ページ)



石原 弘村長

所信表明

8月4日の村長選挙で初当選した石原弘村長。9月20日に招集された村議会定例会で、村長就任のあいさつと今後の村政運営について所信を表明しました。ここでは、その内容をお知らせします。

平成25年第11回田野畑村議会定例会の開会にあたり、村長就任の挨拶と今後の村政運営について所信の一端を申し上げます。

私は、このたびの村長選挙におきまして、村民の皆様のご支援とご支持を賜り、この職責を担い出すことは身に余る光栄でありますとともに、村政を担う責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

初心を忘れることなく、34年余りの行政経験と、先輩諸氏との交流の中で培ってきた経験を生かし、参加型の行政運営、希望に満ちた村づくりのため、村民の声に耳を傾け、皆様が住み続けたい村、幸福に満ちた価値創造の村づくりに努めてまいります。

私の村政運営の基本姿勢は、政策の説明責任を果たすこと、政策の決定過程を明瞭にすること、政策に村民の意見を聞き入れる柔軟性を持つこと、政策の平等性・公平性を堅持することなどであり、また、諮問制度についても、その基本姿勢を貫き、政策検討の機能を果たせながら柔軟な運用を図る考えであります。

私たちの村は、三閉伊一揆の発

希望に満ちた村づくりのため
村民の声に耳を傾け
住み続けたい村、幸福に満ちた村づくりを進める

頭村であることを礎に「揆を一」にし、東日本大震災の悲しみ・怒りを希望に変え、「新生 たのはた」を目指します。これからの村づくりは、従前に増して、青年・女性の方々の意見を取り入れながら、取り進めていく所存でございます。

現下の最大の課題は、過疎に耐え抜きながら、復旧・復興を成し遂げ、「新生 たのはた」を創造することであり、そのためには被災者の生活再建を第一とし、住宅再建・なりわいの成立を最優先させることは必定であります。

住宅再建については、就任後直ちに事業の進捗を確認したところ、高台移転団地の造成が2カ月ほど遅延となることが判明したことから、様々な機会を通じて説明を行ったところであり、各移転団地の入居予定者に対しても遅延等について説明会を開催することとしております。今後においても、適時に説明責任を果たしていく所存であります。

なりわいの成立については、産業振興における漁業者の作業スペースが不足していることから、土地利用計画等のあり方について、

随時、地権者、関係団体等との調整、確認を行いながら、その方向性、実用性等を見いだしてまいりたいと考えております。

公共施設の整備は、公共の福祉という観点から、また不特定多数の方々が利用する施設であることなどを踏まえ、多角的・多面的・多重的な検討のうえに、政策決定を行わなければならないと考えています。これには、公の責務が伴うものであり、村民に対し説明責任を果たすこと、その説明に根拠があることが重要であります。言い換えれば、「未来への責任」を果たす行為でもあることから、そのプロセスを大事にしながら意思決定をしまいたいと思っております。またこうしたプロセスを経ながら、事業を管理していくうえで通常行う事前の評価、再評価、事後の評価を適切に行ってまいりたいと考えております。

私たちは、現在の責任を果たすと同時に、未来への責任を果たすことも重要なことであることから、復興を進めながら、その二つの責任を果たせるように、熟慮を重ねながら事業を進めてまいります。

大震災の検証・総括とは、3月

希望に満ちた村づくりのため
村民の声に耳を傾け
住み続けたい村、幸福に満ちた村づくりを進める

11日のあの日あの時▼自分はどのように行動したのか▼周りの行動はどうであったか▼もしも夜だったら▼雪が積もっていたらどうだったか▼児童・生徒・高齢者がいる家庭ではどうだったか▼医療器具を携帯しなければならぬ人がいる家庭ではどうだったかーなど、多くの検証を行いながら、村民の命を守る防災、減災対策のあり方を総括し、今後の政策につなげようとするものであります。



1次産業の振興を中心にして産業全般に活力を

民一人一人が7年後のオリンピック開催をイメージし、希望を感じた瞬間であるとも言えます。

希望とは、一つ一つの難局はあっても、明るい明日を感じるものであり、夢を共有することの大切さを教えていただきました。

私も村民全体が夢を共有し、将来に希望を持てるような村の創造に向けて、努力してまいりたいと思っております。

以下、村づくりの主要な施策の基本方針について申し上げます。

産業の活性化

村の発展は、1次産業の振興を中心に据えながら産業全般が有機的に連動することで、地域経済に活力が生まれるものと確信いたしております。

農林漁村は、生産の場であるだけでなく、国土の保全、水源のかん養、生物多様性の保持、自然景観の形成、文化の継承等、様々な役割を担っており、この機能の保持、循環機能を損なうことなく、豊かな自然を生かした環境保全型・産業づくりを形成することを目指してまいります。

1次産業は、気象条件に左右される面がありますが、自然の懐に抱かれた食文化の深みはこの自然感にあるものと言っても過言ではなく、この豊かな自然の中で生産された農林水産物の振興にあつては、海洋資源を生かした活魚の販売、付加価値を付けた流通などの推進、地域の気象を生かした農業生産においては年齢層にあつた作物生産や加工の促進、森林整備と地場産材の活用などが主要なものとなることから、後継者等の育成・養成を図りながら、地域の資源から生まれる1次産業のさらなる発展・展開に努めてまいります。

併せて、この1次産業からの生産物への付加価値を高める6次化を積極的に推進し、所得の向上・雇用機会の拡大に努めてまいります。

このことは、過日、本村で開催された北海道・北東北知事サミットの中でも『食のブランド力向上による地域振興と復興の加速化』として宣言され、「農林水産物の付加価値向上に向けた政策の充実」を目指すことが付議されています。

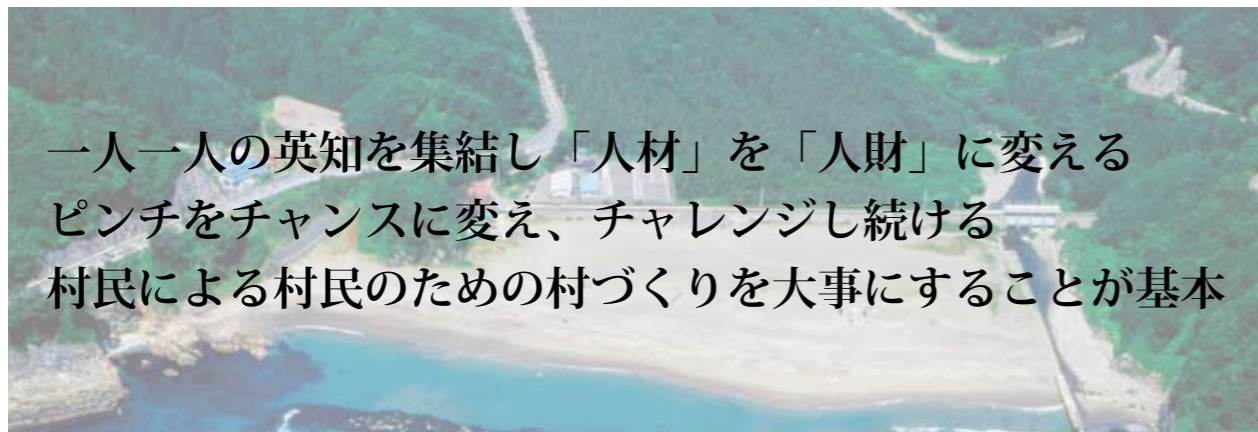
その中で、農林水産物の持つポ

テンシヤルを生かし、食品関連産業を発展させることが地域の振興、東日本大震災からの復興において不可欠であり、魅力ある商品づくりや付加価値化、販路の拡大、ネットワークの形成、人材育成、情報発信力の強化などによる食のブランド力向上の重要性が確認されたところでもあります。

村においても、食のブランド力を高め、村民所得の向上につながる食品産業の発展、人材育成等を図り、国・県・関係団体等の指導・支援をいただきながら、産業全般の活力・活性化を模索していく考えであります。

また、村が持っている豊かな資源と多面的な機能を最大限に生かすため、ジオツーリズム、グリーンツーリズム、エコツーリズムなど体験型観光の推進だけにとどまることなく、文化の交流、食の交流など村が有する機能の活用・推進を図りたいと考えています。

併せて、人々が訪れる魅力的な村づくりを推進するために、多くのご意見や提言などを結集し、地域の宝、田野畑が誇る価値を丁寧に一つ一つ積み上げてまいりたいと考えております。



一人一人の英知を集結し「人材」を「人財」に変える
ピンチをチャンスに変え、チャレンジし続ける
村民による村民のための村づくりを大事にすることが基本



村を担う子供たちのため教育環境づくりに努める

学校教育・生涯教育の振興

次に、歴史を顧みれば、厳しい時にこそ、人を育てることが重要だと史実は教えています。「村づくりは人づくり」を礎に、学校教育、生涯教育の振興（産業・福祉との連動を図ることを含む）に努めてまいります。

教育は百年の計であること、地域の持続可能な発展のためには、人材育成が大事であることは言うまでもありません。この村の未来を担う子供たちの豊かな感性、しなやかな発想、限らない夢に向かって挑戦し続ける心を養いながら、就学前教育から小学校、中学校の教育などの環境づくりに努め

るとともに、子育ての教育機会、子育て支援のあり方を検討し、国民一体となった充実に努めてまいります。

生涯教育の観点からも、村民が安全で安心して健康で暮らせる村生涯を通じて学び続ける教育環境づくりも含め、総合的な教育機能の強化と定住化に努めてまいります。

保健・福祉の充実

次に、村民の命と健康を守るため、医療、保健、福祉の一層の充実に向け、関係機関と連携しながら、特に、予防に重点を置いた、各種検診、保健サービス等に努めてまいります。

高齢者が安心して暮らせる村、高齢者が培ってきた技能や経験を発揮できる社会参加活動を支援し、障害のある人やお年寄りなど弱者に優しい村を目指してまいります。

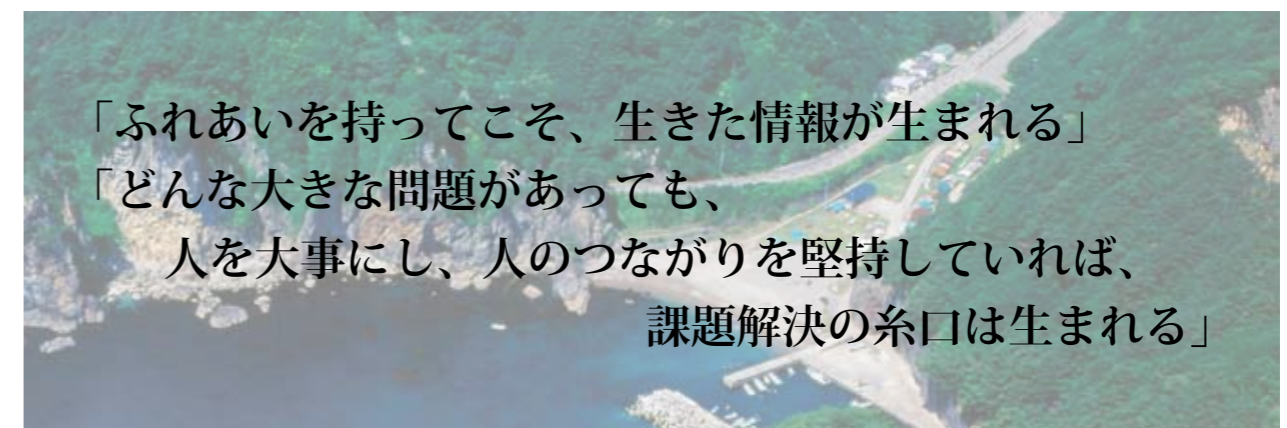
環境の維持・保全

次に、環境に関し、より一層の環境の維持・保全意識の高揚を図り、リサイクル活動を進めると

もに、村が持つ豊かな自然環境、水資源や森林の保全とその資源を生かした新エネルギーの利活用について、既に計画樹立されている内容を基にしながら、その具現化の可能性を追求する必要があると認識しています。この事業は広範囲で重厚なものであることから、出来ること、小さなことから取り組み、地球環境保全に貢献する村を目指してまいります。

以上、村づくりへの諸課題に対する、私の取り組みの基本的な考え方を申し上げます。行政改革や地域主権・地方分権の推進など、国はもとより、国際化の進展により、村政をとりまく環境は大変厳しく、また常に変容するものであることから、その変化に適切に対応できるような柔軟性を持った行政運営に努める所存であります。

私は、「人は、ふれあいをもってこそ、生きた情報が生まれる」「どんな大きな問題があっても、人を大事にし、人のつながりを堅持していれば、課題解決の糸口は生まれる」と思っています。一人ひとりが持っている英知を集結し、「人材」を「人財」に変えていくことがこの難局を打開する大きな



「ふれあいを持ってこそ、生きた情報が生まれる」
「どんな大きな問題があっても、
人を大事にし、人のつながりを堅持していれば、
課題解決の糸口は生まれる」

力になると思っています。ところで

ピンチをチャンスに変え、チャレンジし続けてまいりたいと思っています。そのためには、一人ひとりが持っているネットワークを地域ネットワークに束ねることで地域力を高めることが大切です。多くの村民の参加によって情報の量と質を向上させ、地域創造力を高めることが重要であります。

一人の力は限られています、村民の力を結集することによって、田野畑村の希望につながると思っています。

村民による村民のための村づくりを大事にすることを基本とする考えであります。

自立・自律する村、希望に向けて歩み続ける村づくり、住みよい村づくりの実現のため、誠心誠意、全力で取り組み、開かれた村政、説明責任を果たす村政、参加型の村政などを信条として、いかなる難題にも果敢に挑戦してまいります所存であります。

議員各位、村民の皆様には、より一層のご指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶と所信表明といたします。

長寿を願い 敬老会を開催



これからますますの長寿を願って万歳三唱



菅窪自治会婦人部が会場一体となって体操



あいさつに耳を傾ける皆さん



声高らかに「かんぱーい」



羅賀婦人会が「潮騒のメモリー」

9月16日は「敬老の日」。村はこの日、村内の75歳以上の人を対象に、多年にわたり社会に尽くしてきた皆さんを敬愛し、長寿をお祝いしようと、ホテル羅賀荘で敬老会を開催。約140人の皆さんが参加しました。開会にあたり石原弘村長が「歴史の中で苦しみを乗り越えてきた皆さん。その強さと心をしっかりと受け継ぎ、これからの村づくりを進めます」とあいさつ。鈴木隆昭村議会議長が「この社会を築き上げたのは皆さんの尽力。長生きされ、幸せな毎日をご過ごされることをお祈りします」とお祝いの言葉を送りました。

参加した皆さんは「久しぶりだがねー」「元気でましたがい」と会話を弾ませながら会食。余興で踊りを披露した浜岩泉浦漁協女性部、菅窪自治会婦人部、羅賀婦人会には大きな拍手を送っていました。

会場は、参加者の大きな笑い声と笑顔があふれ、和やかな空気に包まれていました。

積み重ねてきた数十年
これが私の
①健康の秘訣
②今の楽しみ



長内 ハツミさん
(北山・86歳)

①食べ物に気を付けること
②野菜作りと一人暮らしを楽しむこと



畠山 市兵衛さん
(七滝・95歳)

①内臓が丈夫なこと
②酒はやめたが、タバコはやめられない



平坂 リヨさん
(北山・79歳)

①何でも食べて寝たいぐらい寝ること
②孫の成長や活躍を見ること



野崎 利良さん
(萩牛・78歳)

①特にながテレビを見ること
②時代劇や刑事ドラマを見ること

子育て

一緒に考えませんか？

「子ども・子育て会議」の委員を募集

これからの村の子育て支援について検討する「田野畑村子ども・子育て会議」の委員を募集します。この会議は、子育て中の皆さん、学識経験者などの意見や提言を伺いながら、村子ども・子育て支援事業計画を策定する集まりで、委員は約15人。そのうち、現在子育て中の「当事者委員」を募集しますので、応募をお願いします。

◆募集人数：2人

◆応募資格

- ①小学生以下の子どもがいる人
 - ②村内に住所があり、引き続き居住する予定の人（外国人は日本語が理解できる人）
 - ③18歳以上の人
 - ④議員や公務員でない人
- ◆委員の役割：会議に出席し、村の子ども・子育て支援に対する意見発言など

◆任期：10月下旬から2年間

◆会議開催予定：年2回程度

◆報酬：1会議当たり2000円

◆応募方法：応募用紙に必要事項を記入して郵送（FAX可）。

応募用紙は生活環境課で受け取るほか、村ホームページからダウンロードもできます

◆応募期限：10月11日(金)

◆選考：応募書類で選考。結果は応募者全員にお知らせします

◆応募・問い合わせ先：生活環境課（〒028-8407 田野畑村田野畑143-11 ☎34-2632）



元気な踊りを見せるのはた児童館の子どもたち（資料写真）

三陸ジオパーク Sanriku Geopark 誕生

「三陸ジオパーク」が9月24日、日本ジオパークに認定されました。今年4月に、日本ジオパーク加盟申請書を提出し、5月に公開プレゼンテーション。プレゼンテーションでは、三陸地域を代表して体験村・たのはたネットワークの楠田拓郎事務局長が本村での活動内容などを紹介しました。8月には現地審査が行われ、このたびの認定となりました。

ジオとは、地球や大地を表す言葉。ジオパークとは、地球活動の遺産を見どころとする自然公園のことです。太古の歴史から現在まで、地

形・地質・動植物や人の暮らしを含めて地球を学び、その魅力を楽しむのがジオパークです。

三陸ジオパークは、青森県八戸市から岩手県、宮城県気仙沼市までの沿岸全16市町村で構成される三陸地域。3年後の世界ジオパーク認定を目指して、これからさまざまな活動を展開していきます。

体験村・たのはたが行っている「たのはたジオパークガイド」を利用すると、「ハイペ海岸の白亜紀地層」や「羅賀の津波石」などが説明を受けながら見学できます。北山崎や鶴の巣断崖の景観、サクラソウやチョウセンアカシジミなどの動植物もジオの素材です。

今年5月には「三陸復興国立公園」が誕生したばかり。日本中、世界中に向けて情報を発信することで多くの人に村を訪れていただき、ジオの魅力に触れてもらう活動を進めていきます。

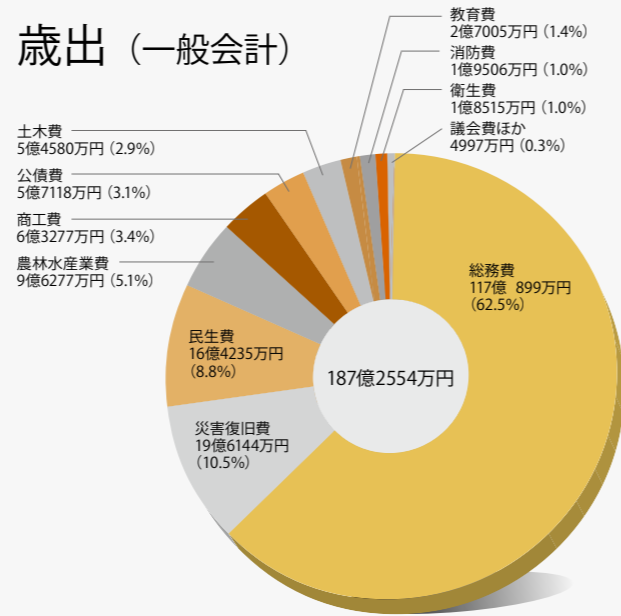


間近で見られる白亜紀地層も魅力

村民1人あたりの
歳出額は 約**494**万円

<p>公債費</p>  <p>約15.1万円</p>	<p>一般会計の歳出総額を、村人口3,794人（平成25年3月31日現在）で割りました</p>
<p>土木費</p>  <p>約14.4万円</p>	<p>総務費</p>  <p>約308.6万円</p>
<p>教育費</p>  <p>約7.1万円</p>	<p>災害復旧費</p>  <p>約51.7万円</p>
<p>消防費</p>  <p>約5.1万円</p>	<p>民生費</p>  <p>約43.3万円</p>
<p>衛生費</p>  <p>約4.9万円</p>	<p>農林水産業費</p>  <p>約25.4万円</p>
<p>議会費ほか</p>  <p>約1.3万円</p>	<p>商工費</p>  <p>約16.7万円</p>

歳出（一般会計）



総務費…一般事務や地域情報化対策、交通対策など（東日本大震災復興交付金基金ほか震災関連基金積立金100億6192万円、三陸鉄道施設用地等購入4457万円、村民バス運行4345万円）
 災害復旧費…道路や漁港、防災施設などの復旧費
 民生費…障がい者や高齢者福祉、児童館等の運営、災害救助費など（災害等廃棄物処理10億4479万円、自立支援給付8320万円、児童館等の運営6108万円、子ども・児童手当5768万円）
 農林水産業費…農道や漁港の整備など（共同利用漁船等復旧支援2億3900万円、サケふ化場整備2億3191万円）
 商工費…商工業や観光振興など（観光振興企業経営支援4億1906万円、観光交流物産施設整備7023万円）
 公債費…借金（地方債）の返済に使うお金
 土木費…道路や住宅の整備など（災害公営住宅整備1億1万円、村道菅窪和野線・田野畑平井賀線改良舗装1億2991万円、道路維持費5692万円）
 教育費…小中学校や社会体育施設の整備や運営など（小中学校太陽光発電設備設置6000万円、給食センター運営1980万円）
 消防費…消防施設整備や消防・救急活動など（宮古広域行政組合への負担金9151万円、消防無線災害復旧負担金6754万円）
 衛生費…健康診断やごみ処理など（各種健康診断の費用841万円、ごみ処理費用5567万円）

■決算額（歳出額）の比較 (単位：万円)

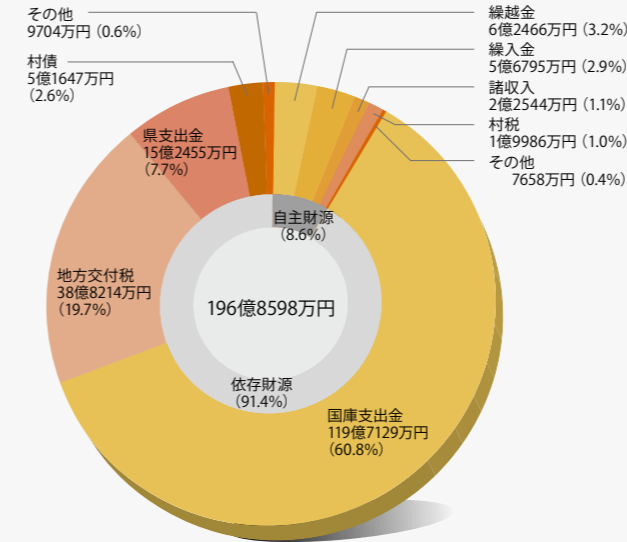
区分	24年度	23年度	伸び率
一般会計	187億2554	106億7877	75.4%
国民健康事業	5億6322	5億9512	-5.4%
保険会計 直営診療	1億3359	1億4512	-7.9%
簡易水道会計	1億5741	1億1333	38.9%
集落排水会計	2億1729	6607	228.9%
下水道会計	3197	3028	5.6%
介護保険事業	4億6164	4億5983	0.4%
会計サービス	223	133	67.9%
後期高齢者医療会計	2829	2661	6.3%
小計	15億9562	14億3768	11.0%
合計	203億2116	121億1645	67.7%

平成24年度

決算

歳出総額約**203**億円
対前年度比**67.7%**増

歳入（一般会計）



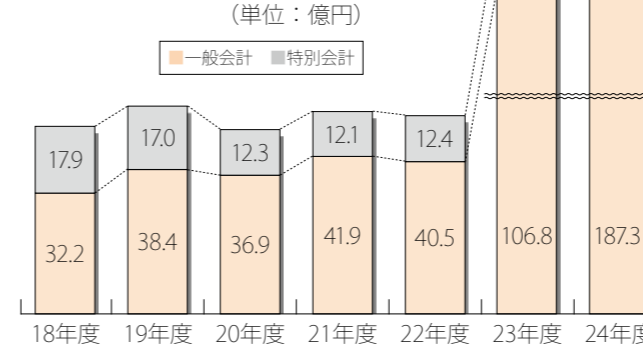
自主財源（8.6%）

繰越金…23年度からの繰越金
 繰入金…東日本大震災復興交付金基金繰入金など
 諸収入…小中学校の給食費や宝くじ収益金交付金など
 村税…村民税や固定資産税、軽自動車税などの税金
 その他…財産収入や寄付金、繰入金など

依存財源（91.4%）

国庫支出金…国からの補助金など
 地方交付税…国が地方公共団体に国税の一部を交付するお金
 県支出金…県からの補助金など
 村債…事業を実施するときに借りるお金
 その他…国からの交付金など

■一般・特別会計の歳出額推移 (単位：億円)



一般会計の歳出総額は196億8598万円。前年度に比べ83億8256万円（74.2%）の増額となりました。歳入増額の主な理由は、前年度に比べ国庫支出金が65億5961万円増額になったことなどが挙げられます。なお、歳入総額に自主財源が占める割合を示す自主財源比率は8.6%で、前年度を0.3%下回りました。

平成24年度の決算は、一般・特別会計を合わせた歳出総額203億2116万円、対前年度比67.7%の増となりました。9月議会で認定された決算の概要をお知らせします。

2554万円、前年度に比べ80億4677万円（75.4%）の増額となりました。24年度に取り組んだ主な事業は、震災関連基金積立金（100億6192万円）、災害等廃棄物処理（10億4479万円）、漁港や道路などの災害復旧（15億8858万円）、共同利用漁船等復旧支援（2億3900万円）、サケふ化場整備（2億3191万円）、災害公営住宅整備（1億1万円）などです。

特別会計の歳出総額は15億9562万円、前年度に比べ1億5794万円（11.0%）の増額となりました。会計別では、集落排水特別会計が前年度に比べ1億5122万円（228.9%）増額となりました。主な増額の要因は、漁業集落排水処理施設整備事業（1億7694万円）の実施によるものです。

人事行政状況を公表

村職員の人事行政について次のとおり公表します。

職員数などの状況

■採用と退職の状況

区分	平成23年度	平成24年度
採用者数	3人	4人
退職者数	6人	9人

■職員数の状況（各年4月1日現在）

区分	平成24年	平成25年	増減	増減理由
一般行政部門	49人	51人	2	震災復興対応のための増
特別行政部門	5人	4人	-1	事務の合理化等による減
公営企業等会計	14人	14人	0	
合計	68人	69人	1	

給与などの状況

■人件費の状況（24年度一般会計決算）

歳出額 A	人件費 B	人件費率 B/A	23年度人件費率
187億2554万円	6億 995万円	3.3%	5.8%

■給与費の状況（25年度一般会計予算）

給与費合計	給料	職員手当	期末・勤勉手当
3億2048万円	2億 605万円	4065万円	7378万円

※特別職や非常勤職員の給与などは含まれていません

■平均給料月額と平均年齢（25年4月1日現在）

区分	田野畑村		県（24年4月1日現在）	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	30.6万円	44歳11カ月	33.9万円	43歳5カ月

■期末・勤勉手当の状況（25年6月1日現在）

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.200月分	1.350月分	2.55月分
勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.35月分
計	1.875月分	2.025月分	3.90月分

■特別職の報酬などの状況（25年6月1日現在）

区分	報酬等月額	期末手当
村長	622,000円	
副村長	516,000円	6月期…1.375月分
議長	235,000円	12月期…1.525月分
副議長	189,000円	計…2.900月分
議員	170,100円	

■ラスパイレス指数の状況

区分	平成22年	平成23年	平成24年
田野畑村	89.2	90.0	96.9
県内平均	95.5	95.4	103.0
県内順位	33位	31位	32位
市町村数	35市町村	32市町村	33市町村

※ラスパイレス指数…国家公務員の平均給与月額を100とした度合い

宝くじ助成

テントなど247万円の備品整備

村は、(財)自治総合センターの宝くじ助成金を利用して、イベント用テントやベンチを整備しました。整備した備品は各種イベントで使用するほか、地域コミュニティ活動の推進を図るため、自治会や自治振興会などに無料で貸し出します。

貸し出しを受ける場合は申請書の提出が必要です。申請書は役場政策推進課で配布します。希望する場合はお問い合わせください。

◆問い合わせ先：政策推進課
34-2111 内線63

■整備した備品（助成額240万円）と貸出可能在庫数

備品名	数量	金額（円）	貸出可能数
ワンタッチオールアルミテント（2.4m×4.8m）	4張	546,000	10張
ワンタッチオールアルミテント（3.0m×6.0m）	5張	787,500	20張
イベント用ベンチ（180cm×40cm）	40脚	567,000	80脚
イベント用シンク	2台	130,200	2台
イベント用大型ガス釜	1台	441,000	1台
システムアンプ			1台
マイクスタンド			2本
合計額		2,471,700	



下北新人戦

女子ソフトテニス 女子バスケット



第48回下北地区中学校新人大会が9月14日、本村と岩泉町の5会場で開催されました。田野畑中は、女子バスケットボール、女子ソフトテニス団体が優勝。また、女子テニスでは個人戦も制し、県大会出場を決めました。男子バスケットも地区代表で県大会出場が決まっています。

■軟式野球 2位

田野畑 3-0 小川
岩泉
2-5
優勝
2勝0敗

■卓球 優勝

早野明・畠山未瀬組
優勝
4位
0勝3敗

■女子バレー 2位

田野畑 32-30 小川
岩泉
65-22
1勝1敗

■女子ソフトテニス

優勝
優勝

■団体戦

優勝
優勝



ドライバーに啓発チラシや田野畑牛乳を配布して交通安全を呼び掛け

牛乳配り交通安全を呼び掛け

村、交通安全協会田野畑支会、村老人クラブ連合会、岩泉警察署など約30人が9月24日、道の駅たのはたで交通安全キャンペーンを行いました。秋の全国交通安全運動期間に合わせて行ったもので、国道45号を宮古方面に向かう車1台1台のドライバーにチラシや牛乳を配布。シートベルトの正しい着用などを呼び掛けました。お母さんと一緒に参加した若桐保育園の深渡昊佑君（2つ）は「気を付けてね」とかわいらしい声で一生懸命呼び掛けていました。

福田こうへいさんの歌声熱く

「福田こうへい三陸ツアー」が9月25日、アズビィ楽習センター駐車場の特設ステージで開催されました。会場には福田さんの歌声を聞こうと開演前から多くの方が来場。午後4時の開演を迎えると、約500人が会場をうめました。福田さんは約1時間、伸びのある歌声と方言を交えた軽妙なトーク。会場では手作りの応援うちわを振ったり、涙を流しながら歌声に聞き入ったりする姿が見られました。来場者からは「などもかども良かった」「これで長生きできる」など、喜びの感想が聞こえていました。



福田こうへいさんの歌声に聞き入る来場者の皆さん

◆福田こうへいさんから

田野畑村の皆さんへのメッセージ

震災後、沿岸何カ所かで歌いました。そのときに私のほうが元気をもらい、メジャーデビューすることができ、今こうして頑張れています。このツアーは、沿岸の皆さんにどうしても恩返しをしたくてという思い。これからの歌手人生、皆さんに応援していただいたことを心に、歌で必ずお返ししていきたいと思えます。NHKのドラマ「あまちゃん」は終わってしまいましたが、「こうちゃん」はこれから。応援してください。私も皆さんを応援しています。※福田さんのサイン色紙を5名様にプレゼント。広報クイズに応募してください。



知事サミットに一揆太鼓出演

「第17回北海道・北東北知事サミット」が9月3日、ホテル羅賀荘で開催されました。達増拓也岩手県知事ら4人の知事は、「食のブランド力向上による地域振興と復興の加速化」を宣言。食品関連産業の発展が大震災からの復興に不可欠であることを確認しました。サミット後の懇談会には、田野畑中学校の「田中一揆太鼓」が出演。力強い演奏に大きな拍手が送られました。演奏に感動した達増知事は退場する生徒たち一人一人と握手を交わしていました。



中学生の力強い演奏に拍手を送る達増知事

世代を超えてマレットで交流

村民マレットゴルフ交流大会が9月23日、村営野球場脇の仮設マレットゴルフ場で開催されました。参加したのは小学生から大人まで34人。3～4人のグループになり18ホールをラウンドし、世代を超えた交流を深めました。穂高成美ちゃん（田野畑小4年）は「マレットゴルフをやったのは初めて。とても楽しかったので、またやりたい」と一緒に参加したお父さんに笑顔で話していました。会場にはボールを打つ音と歓声が響きわたり、笑顔があふれていました。



狙いどおりのパットが決まり、思わずガッツポーズ

■大会結果（3位以内の入賞者）

部門（参加者数）	優勝	2位	3位
一般の部（21人）	前原 健伍 78	上山 年和 78	畠山 明 82
女性の部（9人）	戸由 孝子 89	松本 テツ 90	早野キサ子 92
中学生の部（2人）	東崎 浩和 111	和山 皓輝 137	
小学生の部（2人）	佐々木綾音 121	穂高 成美 133	

※スコアが同数の場合は、年齢により順位を決定



残念、カップをかすめ少しオーバー



お知らせ

人口と世帯		火災	
9月1日現在()は前月比		(8月21日～9月20日)	
人口	3,761人(-8)	火災の【今月】	0件
男	1,857人(-5)	発生件数【今年】	1件
女	1,904人(-3)	無火災の連続記録	
世帯	1,435世帯(-1)	(9月20日現在)	194日

農振除外の申し出を受付中

東日本大震災の被害を受けたことにより新しく住宅を建築しようとする人で、やむを得ず農地に建築する場合などは、農振除外と農地転用許可が必要です。

手続きやその後の住宅建築などをスムーズに進めるため、申し出期限を設けて受け付けています。農地への住宅建築予定がある人は、早めの申し出を心掛けてください。

◆受付期限

- ①10月31日(木)
- ②平成26年2月28日(金)

◆その他…申し出状況により期限を変更する場合があります

◆申し出・問い合わせ先…産業振興課 (☎34-2111 内線71)

小中学生の医療費を助成中

村は、就学前乳幼児の医療費助成に加え、小中学生の自己負担分医療費も助成しています。

◆対象…小学生、中学生

◆助成期間…就学時から15歳に達した年度の3月31日まで

◆対象医療機関…保険医療機関、保険薬局

◆給付方法…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担分を支払った後、役場に申請

◆申請方法…医療費(一部負担金)の領収書、健康保険証、金融機関の口座番号(保険者名義)、印鑑を持参。役場生活環境課で所定の用紙に必要事項を記入して申請。数カ月分をまとめ、なるべく1カ月ごとに申請してください

◆申請・問い合わせ先…生活環境課 (☎34-2114 内線25)

子宮頸がん予防接種について

子宮頸がん予防接種は、積極的な接種を控えることになりました。これは、ワクチン接種後に副反応などが見られたためです。積極的には勧めませんが、予防接種を受けることはできます。希望する場合はその有効性と副反応などを理解した上で受けるようにしてください。

◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

住宅再建などを支援します

大震災で被災した住宅を新築や改修する場合、次のような補助を受けることができます。

◆新築・購入(28年度まで)

- ①バリアフリー
 - 床面積75㎡未満…40万円
 - 75㎡～120㎡未満…60万円
 - 120㎡以上…90万円
- ②県産材使用
 - 使用料10㎡以上…20万円
 - 20㎡以上…30万円
 - 30㎡以上…40万円

◆補修・改修(25年度まで)

- 補助率2分の1、組合わせ可
- ①補修…上限30万円
- ②改修
 - 耐震化…上限60万円
 - バリアフリー…上限60万円
 - 県産材使用…上限20万円

◆宅地の復旧(25年度まで)

被災した宅地の法面保護、配水施設設置、地盤の補強・整地、擁壁の設置・補強などをする場合、その経費の2分の1を補助。1宅地当たり上限200万円、下限10万円

◆問い合わせ先…復興対策課 (☎34-2111 内線67)

村の震災支援をご利用ください

◆住宅再建…村内に自宅を建築か購入。複数世帯100万円、単数世帯75万円

◆被災住宅修築…被災住宅の修繕など。大規模半壊20万円、半壊5万円

◆新規住宅債務…利子相当額の助成。上限300万円

◆移転費用…村内に居住する世帯。複数世帯20万円、単数世帯15万円

◆浄化槽設置…加算補助。5人槽29万8千円以内、7人槽45万9千円以内

◆汚水公共ます等…給水・下水道等区域内の、汚水公共ます、2戸以上の接続が見込める公共用地内の上下水道管の敷設を村直営工事で整備

◆災害公営住宅家賃…入居日から3年間、家賃を3割減額。上限1万円

◆問い合わせ先…復興対策課 (☎34-2111 内線68)

くらしのなんでも相談会を開催

仕事、お金、病気、人間関係や法律など生活の困りごとに無料でお答えします。村外の専門家が対応し、秘密は守られますので、安心してご相談ください。

◆日時…10月17日(木) 午前10時～正午

◆場所…村保健センター

◆申込期限…10月16日(水) ※申し込まなくても相談できますが、申込者優先となります

◆申し込み・問い合わせ先…あすからのくらし相談室・宮古 (☎0193-64-2400)、保健福祉課 (☎33-3102)

歳末演芸会の出演者など募集

村社会福祉協議会では、歳末たすけあい演芸会のボランティア出演者、スタッフを募集しています。

◆日時…12月1日(日) 午前10時～午後1時

◆場所…アズビィホール

◆内容…舞踊、演劇、演奏、民謡、歌謡曲、郷土芸能、奇術など

◆申込期限…10月25日(金)

◆申し込み・問い合わせ先…村社会福祉協議会 (☎33-3025)



日本脳炎予防接種を無料で

日本脳炎の定期予防接種を受ける機会を逃した人(平成7年4月1日から19年4月1日までに生まれた人)は、予防接種を無料で受けることができます。希望する人は予約してください。

◆対象者…接種日現在、満4歳以上20歳未満

◆接種日時…毎週火曜日(祝日除く)の午後4時～4時30分

◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約

◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

森林の伐採には届け出を

森林の伐採には届け出が必要です。森林は、所有している人の資産であるばかりでなく、水を蓄えたり地球温暖化防止などの役割を果たす地域社会にとって重要な資源。大切な森林を違法な伐採や無秩序な開発から守るため、伐採届け出が法律で定められています。伐採するときは、30日前までに忘れずに届け出てください。

◆対象になる森林…保安林と保全施設地区を除く山林。樹種や面積、目的を問わず届け出が必要です

◆自分で伐採する場合…森林所有者(本人)の届け出

◆業者に伐採を依頼する場合…森林所有者(本人)と伐採業者の連名で届け出

◆届け出時期…伐採を始める90日から30日前まで

◆届け出・問い合わせ先…産業振興課 (☎34-2111 内線73)

土地の立入調査にご協力を

県は、急傾斜地や沢などで皆さんに被害が生じる恐れがある危険区域を設定するため、土砂災害防止法に基づき現地調査を行っています。皆さんの土地に立ち入って調査することになりますのでご協力をお願いします。

◆調査期間…10月31日(木)まで

◆調査場所…沼袋、甲地、田代、真木沢地区の危険箇所

◆調査会社…国際航業(株)

◆その他…調査会社は身分証明書を携帯しています

◆問い合わせ先…岩泉土木センター河川港湾課 (☎22-3116)

住まいの復興給付金制度

平成26年4月1日から、消費税率が8パーセントに引き上げられることが検討されています(27年10月1日以降は10パーセント)。

大震災で被災した住宅を新たに建築や購入する場合、引き渡しを受けるのが26年4月1日以降であれば、8パーセントの消費税率が適用されます。「住まいの復興給付金制度」は、消費税率の引き上げに伴う負担増加分を支援する制度です。詳しい内容は問い合わせてください。

◆問い合わせ先…住まいの復興給付金準備事務局コールセンター (☎0570-200-246)

人間ドック受診に助成金交付

◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人(全ての医療機関での受診が対象)

◆助成額…課税状況により1万～2万円(2年に1回の助成)

◆申請方法…受診機関の領収書または受診証明書、はんこを持参し、保健福祉課に申請

◆助成期間…平成25年4月1日～26年3月31日の受診分

◆申請・問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

10月の無料法律相談

- ◆期日…3日(木)、10日(木)、17日(木)、19日(土)、24日(木)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所
- ◆申し込み先…宮古市市民相談室(☎0193-62-2111)

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（10月20日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様に「福田こうへいさんのサイン色紙」が当たります。

Q1 9月24日に「日本ジオパーク」に認定されたのは？
A) 三陸ジオパーク
B) 思惟大橋公園

Q2 9月3日、ホテル羅賀荘で開催された「北海道・北東北知事サミット」に出演したのは？
A) 大宮神楽
B) 田中一揆太鼓

■前号(9月号)の正解
Q1→B、Q2→B
■当選者(敬称略)
上山明美(田野畑)、奥地正太郎(甲地)、早野真穂(浜岩泉)、矢羽々武美(盛岡市)、和田宣子(千葉県)

おめでた おくやみ

[平成25年8月届け出分]
(一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
大木 琉斗(りゅうと)くん
洋斗・みどり 西和野

■安らかに ～お悔やみ～
秋田 忠(87) 板橋
角 舘 健三(75) 菅 窪
佐藤 義次(90) 羅 賀

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口申し出て下さい

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

2904万7,904円 (9月20日現在)

494件(村内106件、県内139件、県外249件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：10月2日(水)～31日(木)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
10月2日(水)	アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビィ体育館(毎週水曜日)	20:00～21:00	教育委員会
5日(土)	復興祈念祭・前夜祭	しおさい交流センター(ホテル羅賀荘隣)	16:30～19:00	復興対策課(内線67)
6日(日)	復興祈念祭	アズビィホール周辺	9:30～15:30	復興対策課(内線67)
7日(月)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(14日を除く月曜日)	19:30～21:00	教育委員会
12日(土)	診療所休診			診療所
14日(月)	3時間耐久ソフトボール大会	村宮野球場	8:00～14:00	教育委員会
16日(水)	幼児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
20日(日)	田野畑小学校学習発表会	田野畑小学校	8:30～12:15	田野畑小学校(☎34-2050)
26日(土)	岩泉・田野畑地域安全大会	アズビィホール	13:30～15:30	保健福祉課
27日(日)	第42回村駅伝競走大会	村内	8:00～12:00	教育委員会
	田野畑中学校文化祭	田野畑中学校	9:15～15:30	田野畑中学校(☎34-2301)
28日(月)	巡回健康相談	北山地区総合センター	10:00～11:30	保健福祉課
31日(木)	村民税3期・国民健康保険税5期納期限			税務会計課(内線31・32)
	介護保険料5期・後期高齢者医療保険料4期納期限			生活環境課(内線22)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：10月16日(水)～17日(木)

◆はまぎくコース(机・北山方面)

月日	場所	時間
10月16日(水)	グループホームつくえ付近	9:40～10:00
	北山地区総合センター	10:10～10:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
10月16日(水)	佐藤進氏宅付近	11:05～11:20
	望洋館	11:30～11:45

◆おきなくさコース(沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
10月17日(木)	産直プラザ肝要	9:45～10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10～10:40
	甲地公民館	10:50～11:05

はまなす
掲示板

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)



走

100m、200m、リレー
佐々木さんが三冠の走り



跳

6年女子走幅跳
佐藤さんが大跳躍で1位



投

6年男子ソフトボール投げ
田河原君が新記録樹立



繋

みんなの気持ちをバトンでつなぐ

第63回下北地区小学校陸上記録会が9月19日、ふれあいランド岩泉陸上競技場で開催され、田野畑小と岩泉町内の小学生が30種目で練習の成果を競い合いました。田野畑小は5・6年の児童が、ほぼ全ての種目に2人ずつ(リレーは2組)が出場。練習の成果を發揮しようと、全力で挑みました。競技の結果、30種目中11種目で田野畑小の児童が第1位に輝き、6年男子ソフトボール投げでは田河原篤史君が大会新記録を樹立。田野畑小児童の活躍が光った記録会になりました。入賞者のうち、3位以内は下表のとおりです。

■男子入賞者と記録(★印は大会新記録)

種目	順位	氏名(学年)	記録
5年以下200m	2位	工藤 博(5)	32秒14
6年1000m	2位	工藤 丈斗(6)	3分35秒35
5年以下1000m	2位	小松山大輔(5)	3分42秒22
5年以下100m	3位	菊地 颯真(5)	16秒70
6年100m	2位	田河原篤史(6)	14秒23
5年以下80m <small>短</small>	3位	熊谷 和真(5)	17秒90
6年80m <small>短</small>	1位	北田 拓毅(6)	15秒81
	2位	工藤 長己(6)	16秒37
5年以下走幅跳	1位	工藤 博(5)	3m71
6年走幅跳	1位	佐藤 豊樹(6)	3m96
	2位	佐藤 永宙(6)	3m86
5年以下走高跳	3位	三船桂志朗(5)	1m00
6年走高跳	2位	畠山 将太(6)	1m25
	3位	熊谷 礼磨(6)	1m16
6年 <small>短</small> 投げ	1位	田河原篤史(6)	★63m14
400mリレー	1位	工藤 茂喜(6) 工藤 長己(6) 佐藤 俊介(6) 田河原篤史(6)	56秒73

■女子入賞者と記録

種目	順位	氏名(学年)	記録
6年200m	1位	佐々木羽緒(6)	32秒48
6年800m	2位	小澤 佳乃(6)	2分56秒81
6年100m	1位	佐々木羽緒(6)	15秒69
5年以下80m <small>短</small>	3位	中村 海希(5)	18秒72
6年80m <small>短</small>	1位	佐々木綾音(6)	17秒33
5年以下走幅跳	1位	中村 海希(5)	3m40
6年走幅跳	1位	佐藤 真衣(6)	3m68
6年走高跳	2位	熊谷 美里(6)	1m15
	3位	奥地 伶風(6)	1m12
5年以下 <small>短</small> 投げ	3位	兼田 千乃(5)	31m36
6年 <small>短</small> 投げ	2位	大泉 夏望(6)	32m40
	3位	佐々木涼羽(6)	31m52
400mリレー	1位	佐藤 真衣(6) 熊谷 美里(6) 奥地 伶風(6) 佐々木羽緒(6)	62秒04
	3位	関口 愛(6) 佐々木涼羽(6) 有谷 美晴(5) 小澤 佳乃(6)	63秒55

下北地区小学校陸上記録会 田野畑小児童が11種目制す

下北地区小学校陸上記録会



島山 ^{こうた}幸太くん (1歳3カ月)
隆幸さん・清子さん=田野畑=

お母さんからのひとこと

ボール遊びが大好き。何でもよく食べる子です(たまに石ころも)。早寝早起きで、眠くなれば1人で布団に入り寝ています。たくましく育ててね。

わが家の
アイドル



わが家のアイドル掲載募集中

成長の記念に、広報たのぼたにお子さんの写真を掲載しませんか。対象は村内に住所がある1歳～2歳くらいの子ども。かわいい笑顔で、村の皆さんに元気を届けてください。掲載を希望する人は、役場政策推進課広報担当(☎34-2111内線62)まで連絡をお願いします。後日、撮影に伺います。希望者が多い場合は、初掲載の子どもを優先します。

菊地 ^{さわな}爽那くん (1歳3カ月)
正次さん・直恵さん=沼袋=

お母さんからのひとこと

外遊びが大好き。網を持って虫を追いかけて喜んでます。最近コオロギを捕まえました。きかん坊で生傷が絶えません。心も体も大きくなーれ!



編集ごぼれ話

9月16日、ホテル羅賀荘で開催した敬老会には75歳以上140人の皆さんが参加し、笑顔で交流していました。参加した皆さんに健康の秘訣を伺うと「何でもよく食べる」という回答が多数。旬を迎えた季節のものをおいしく食べることが長生きのコツなんだですね▼私も嫌いな食べ物はほとんどありませんが「トマト」「ホヤ」「生卵」の三つがどうしても食べられません。と言いつつ、トマトケチャップは大丈夫、卵も半熟だったらOKなので、ただの食わず嫌いかもしれません。と、りあえずトマトとホヤは今年の旬は過ぎたはずなので、無理に食べなくてもいいですね?▼10月は復興祈念祭、ソフボール大会、地域安全大会、小学校学習発表会、中学校文化祭と大きな行事がめじろ押し。何でもよく食べて体調を整え、毎週末の取材に走り回りたいと思います。旬を迎えるマツタケもおなかいっぱい食べたいなあ…。(政策推進課 佐々木和也)